

令和7年度 上里小学校 経営方針

R7. 4. 1

学校教育目標

里に学び 里を愛し 里を創る

～次代と自らの未来を創造する子～

めざす学校像

「子ども・保護者・地域・教職員が信頼し合い、自慢できる学校」

めざす子ども像

「友達と協働しながら学びを深め、実生活で生かそうとする子」

「学んだことを振り返り、基盤的な学力を身につける子」

「学んだことを深め、興味を持って主体的に学び続ける子」

「自然と豊かにかかわり、健康でたくましく、自他を大切にする子」

めざす教職員像

「児童一人一人の頑張りを認め、子どもの主体的な学びを支援する伴走者として、豊かな愛情で子どもの人権を守る教職員」

1 経営方針

- (1) カリキュラム・マネジメントの視点で、PDCAを意識し、日々の教育活動の質の向上を図る。
- (2) 「主体的・対話的で深い学び」を具現化した問題解決的な学習を展開し、確かな学力をつけていく。
- (3) 人権教育を基盤とした安心できる学級づくりを目指し、「やさしさあふれる学校」をつくる。
- (4) 見逃しのない観察、手遅れのない対応、心のかよった指導を行い、いじめを許さない学校体制をつくる。
- (5) 安心・安全な学校を目指し、給食の食物アレルギー対応には細心の注意を払い、適切な対応が取れるようにする。また、けがや事故の未然防止に努める。
- (6) 地域・家庭の理解と協力を求めながら、地域・家庭の教育力を生かし、共に歩む学校づくりを進める。
- (7) 小中一貫教育を推進し、学力向上や生徒指導、LD等支援の必要な児童・生徒の情報を共有し、9年間を見通した学習指導・生徒指導を推進する。
- (8) 働き方改革を意識し、見通しと計画性をもって業務にあたる。

2 本年度取組

友達と協働しながら学びを深め、実生活で生かそうとする子

- (1) 他者の考えをしっかりと受け止め、自己の考えと比較・関連させながら、自己の考えを伝える活動を実践する。
- (2) GIGA 端末を活用し、言語活動のさらなる充実を図る。
- (3) 実生活とのつながりを実感できる授業の改善。

学んだことを振り返り、基礎的な学力を身につける子

- (1) GIGA 端末を活用し、小テスト、確認テストを継続的に行い、基礎基本の学力を定着させる。
- (2) 自主ノート等を活用し、既習事項の定着を図る。
- (3) GIGA 端末を活用し、日々の家庭学習や週末課題等の定着度を確認するための取組を充実させる。

学んだことを深め、興味を持って主体的に学び続ける子

- (1) 学ぶ楽しさに気付かせ、主体的に学ぶ集団づくりに取り組む。
- (2) GIGA 端末を活用し、学んだことを深める取組の充実を図る。
- (3) 学んだことを振り返り、基盤的な学力を身につけるため、わかりやすいノート指導を徹底する。

自然と豊かにかかわり、健康でたくましく、自他を大切にする子

- (1) 人権尊重の精神と健全な規範意識を養い、相手の立場に立って行動する教育を家庭地域と力を合わせ育んでいく。SC や SSW と連携を図り、支援を要する児童・あたたかく見守る児童について、全校で共通理解と支援の方法を図る。
- (2) 体力向上に向けた取り組みを全校で実施する。
- (3) 食育は、生涯にわたって健康で豊かに生きる基盤であるとともに人の命にも関わる大きな人権教育としてとらえる。

働き方改革を意識した業務改善の取組

- (1) 生成 AI(copilot) を有効的に利用し、業務改善に努める。
- (2) 教科担任制を積極的に取り入れ、専門性を高めるとともに、授業改善に努める。
- (3) 標準授業時間数で指導内容を終えるよう計画的に取組、学年行事等の見直しを図る。
- (4) 全市スキルアップディ、SMART PORTAL 等を活用し、学校内外の研修に努め、新たな学習活動を吸収し、授業改善に努める。
- (5) 月45時間 年間360時間以内の時間外勤務を意識した業務改善に努める。